

「タイムスケープ」展、ただの現代アートの展覧会ではありません。見どころを一言で表すと、大昔の作品と現代に作られた作品が、両方とも楽しめるところです。現代アートに素朴で懐かしい味わいを発見したり、逆に、日本の伝統様式が新鮮に見えたり…。普通の時間感覚をちょっとだけ揺るがす展覧会です。



↑手前はキキ・スミスのオブジェ《セイレン》です。後ろには不動明王！

しかし、まあ、そんなこと抜きにすれば、この子が個人的には一押しです。《木造獅子座》と言いまして、室町時代生まれなのですが、くりっとした目とむちっとしたお尻が何ともかわいい！家で飼いたいほどです。



展覧会、こんな感じでどうぞ気軽にご覧ください。

(FN)